

多摩川クリーン作戦を開催します

多くの皆様のご協力により、毎年春と秋に行う多摩川クリーン作戦も通算で第70回目となります。

市では「調布市都市美化の推進に関する条例」を平成10年4月に施行し、多摩川の河川敷を「美化推進重点地区」に指定しています。河川の環境を守り美化を推進するため、皆さんぜひ多摩川クリーン作戦にご参加ください。

日 時 / 4月12日(日)

午前8時～午前9時(小雨決行)

集合場所 /

○団体参加:

多摩川河川敷の各拠点(のぼり旗で表示)

○個人参加:

京王相模原線鉄橋下の本部(当日直接会場へ)



持ち物 / 軍手

※動きやすい服装でお越しください。清掃用具は市で用意します。

飼い犬の登録はお済みですか

狂犬病予防法により、飼い犬には生涯1回の登録と年1回の狂犬病予防注射が義務付けられています。犬の登録は、環境政策課(市役所8階)で受付けます。鑑札をお渡ししますので、飼い犬に着けてください。手数料は、3,000円です。

また、市外から転入した場合や、調布市以外で登録済みの場合は、その犬の鑑札を持参すれば登録手数料はかかりません(紛失した場合は、再交付手数料1,600円がかかります)。

狂犬病の予防注射は、原則として4月から6月末までに行うことになっています。※未登録や鑑札を着けていない、予防注射を受けさせない、または市が交付する「注射済票」を飼い犬に着けていない場合は、法律により20万円以下の罰金に処せられます。

問合せ / 環境政策課電話 481-7087

詳細は市報ちょうふ4月5日号をご覧ください。

募集

平成27年度に実施するこどもエコクラブ・雑木林ボランティア講座・調布市環境モニターの参加者・受講生の募集を行います。

2014年12月第23号誤表記について.....

2ページ目において、深大寺周辺のそぞろ歩きの実施日を11月25日と記載しましたが、正しくは、11月30日の誤りでした。お詫びして訂正します。

ちょうふ環境にゆ〜す

未来へつなぐ調布の環境

●発行: 調布市環境部環境政策課

●連絡先: 電話: 042-481-7086(直通) F A X: 042-481-7550

メールアドレス: kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp

※市ホームページでも、環境情報を提供しています(「まちづくり・環境」からご覧ください)。

2015年3月
第24号

刊行物登録番号
2014-263

夏に向けて壁面緑化を始めてみませんか

「緑のカーテン」「グリーンカーテン」などとも言われる壁面緑化は、建物の外壁や窓の外側をゴーヤやアサガオなどの緑で覆うことをいいます。

この壁面緑化は、夏の陽射しを建物の外側でスタシのように遮って、熱の透過を弱める働きがあります。そして、葉っぱの隙間から涼しい風を通す効果があります。



ご自宅で実践してみませんか

【ゴーヤの育て方】

①苗の植え付け

苗は、5～6月上旬の間に植えるのが良いでしょう。※種から育てる場合は、4～5月の間に発芽させます(気温が低いと発芽しにくいです)。

②ネットの取付け

つるが伸びる前に、ネットをセットします。葉が茂り、実がなると、予想以上の重さになります。また強風にあおられると危険ですので、ネットはしっかり固定しましょう。

③成長してきたら

つるが伸びてきたら、ネットなどの補助資材にうまく巻きつくようにします。また、50cmほどつるが伸びたら、親づるの先を2～3cm切ります。これにより、子づるや孫づるが横に広がります。

④収穫

暑さが本格的になったころに実がなります。葉の生育を促進させたい場合は、花を摘み、実に栄養がいかないようにしましょう。

⑤片付け

秋になり植物が枯れたら、つるを片付けます。※環境政策課の窓口において、詳細の方法を記載したパンフレットを無料で配布していますのでご利用ください。

【ゴーヤとアサガオの種を無料配布します】

オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の普及・啓発事業の一環として、市に提供されたゴーヤとアサガオの種を、無料で市民の皆さんに配布します(先着順。一世帯合計2袋まで)。ゴーヤの種は4～5月、アサガオの種は5～6月が蒔きどきです。

夏の省エネ・節電対策として、壁面緑化をはじめてみませんか。

【配布場所、配布日時】

①環境政策課(市役所8階): 4月6日(月)からの月～金曜日、午前8時30分～午後5時

②公民館(東部・西部・北部): 4月7日(火)からの火～日曜日、午前9時～午後9時30分

※6月6日(土)開催の第43回調布市環境フェア(荒天中止)において、ゴーヤの苗を無料配布する予定です。

詳しくは、市報5月20日号「環境月間」の記事をご覧ください。



調布市いきものフォトコンテスト2014入賞作品決定!

「調布市いきものフォトコンテスト2014～感じよう!生物多様性」の入賞作品決定!
平成26年7月19日から11月30日まで、市内の自然環境の再発見とともに生物多様性への理解を深めることを目的に「調布市いきものフォトコンテスト2014」を開催しました。コンテストには97点の応募があり、平成26年12月21日から平成27年2月21日まで、多摩川自然情報館の2階廊下に展示し、入館者の投票等により入賞者を決定しました。

なお、今年度は多摩川部門、市内部門、スマホ部門があり、それぞれ入賞作品が決まりました。

【多摩川部門】

《多摩川自然情報館大賞》	《多摩川自然情報館賞・ 叶内拓哉賞》	《多摩川自然情報館賞・ 叶内拓哉賞》	《特別賞》	《特別賞・叶内拓哉賞》
				
岩瀬 裕之さん 「日向ぼっこ」	廣田 知之さん 「アゲハの幼虫(終齢)」	三宅 亮一郎さん 「ピンクのバッタ」	石原 耕彦さん 「メジロのお花見」	鎌田 一幸さん 「どこから生えているの??」

【多摩川部門】 【市内部門】

《特別賞》	《多摩川自然情報館大賞》	《多摩川自然情報館賞》	《多摩川自然情報館賞》	《特別賞》
				
山中 康弘さん 「いやしのガーデンの珍しいくも」	本田 誠さん 「野川の蛇」	木下 ひさしさん 「寄り添って」	福岡 峻一さん 「トイレ中」	田所 俊一さん 「早春の蝶」

【市内部門】

《特別賞》	《特別賞・叶内拓哉賞》	《叶内拓哉賞》	《叶内拓哉賞》	《作品賞》
				
小高 敏弘さん 「むくどり集合160余羽」	小泉 和宏さん 「水面飛行」	石川 和宏さん 「擬態」	石原 耕彦さん 「ねえ、水浴びそろそろやってよ!」	長澤 朋子さん 「コンペイトウ」

【スマホ部門】

《作品賞》	《作品賞》	《作品賞》	《作品賞》	《叶内拓哉賞》
				
井木 江利子さん 「鮮やかな世界」	堀 優さん 「何か見つけたこねこ」	高麗 三保さん 「ザリガニがむかってきた!!」	片山 智穂さん 「白いくも(蜘蛛)のように!」	飯島 香織さん 「ドッキリ!」

調布こどもエコクラブ・調布市環境モニターの活動

調布こどもエコクラブは、河川や緑地などで自然体験を通じて環境を学ぶ、子どもたちの環境クラブです。市では、市内の小中学生を対象に毎年4月に調布こどもエコクラブの会員を募集しており、今年度は55人の子どもたちが会員として登録し、活動しています。環境モニターは、多摩川の植物を中心とした継続観察と記録によって調布の自然を見守り、自然環境の保全に役立てていこうという、市民が主体の環境学習の活動です。

こどもエコクラブ第7回 環境モニター 第5回 バードウォッチング

2月21日(土)に、多摩川自然情報館近くの多摩川河川敷で、こどもエコクラブ参加者33名(子どもたち16名、保護者など17名)と環境モニター参加者(6名)、計39名でバードウォッチングを行いました。講師の指導のもと、双眼鏡やフィールドスコープの使い方を学んだ後、水辺に集まる鳥たちを観察しました。カワセミも見ることができ、大人も子どもも観察を楽しみました。

＜観察した鳥類＞

カイツブリ、カワウ、コガモ、オカヨシガモ、コサギ、オオセグロカモメ、カワセミ、セグロセキレイ、ハクセキレイ、キセキレイ、イカルチドリ、トビ、モズ、ホオジロ、ムクドリ、カワラヒワ、スズメ(計17種)



カワセミを観察する参加者

調布水辺の楽校の活動

1月17日(土)に、今年度第4回目となる調布水辺の楽校のイベント「チャレンジバードウォッチング」が実施されました。参加したのは、81人の市内小学校の子どもたちと保護者71人で、多摩川河川敷において、川にやってくる野鳥の観察を行いました。参加者が多かったため、8つのグループに分け、8人の講師のもと観察を行いました。各グループとも、平均して20~23種の鳥を観察することができ、参加者全員が観察を楽しめました。

＜観察した鳥類＞

カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、コサギ(多数)、ダイサギ、アオサギ、コガモ、カルガモ、マガモ、ハシビロガモ、ヒドリガモ



観察の様子と、観察した野鳥

環境活動交流会

日頃から、環境関連の様々な活動をしている市内の団体や事業者、行政の27団体が一堂に集まり、各団体等の交流をはかることを目的とした平成26年度環境活動交流会「私から始めるエコライフ・調布の自然であそぼ」を、ちょうふ環境市民会議のメンバー運営のもと、2月27日から3月1日までの3日間、文化会館たづくり2階南ギャラリーで開催しました。

開催期間中は、27団体が日頃の活動をパネル展示により紹介し、来場者はそれぞれのパネルをご覧になり、身近な地域で活動されている団体やその活動内容を知るきっかけとなったようです。

また、同じ会場で行われた交流カフェでは、参加者が日頃の活動紹介や今後の取組、日頃から感じていることなど、意見交換を行いました。

最終日の3月1日には、調布市レクリエーション研究会やスタジオげんの協力により、子どもが自然にふれあい遊べる場を設け、来場した子どもたちが丸太切りや工作体験などを楽しみました。



当日の様子